

# スマイルボーリング



## <概 略>

スマイルボーリングは、ボウリングをアレンジした新しい形式のスポーツで、投球位置からゲートを通して、10本のピンを早く倒すゲームです。子どもから高齢者までだれでも手軽に楽しみ、平らな場所ならどこでも行うことができます。

## 〔コート〕

マットサイズは1m×10m、ビニール製。この範囲内の屋内であれば、壁や天井を境界線として利用しプレーすることもできます。また、参加者の身体条件や年齢を考慮してコートサイズを決めても構いません。

## 〔用 具〕

マット：長さ10m、幅90cm～100cm

ピン：10本。高さ25cm、底辺径5cm～5.5cm、重量0.5kg～0.7kg

ゲート：1個。高さ20cm、幅30cm

ボール：2組。径11.5cm、重量900g～1000g、材質 合成ゴム

ナンバーカード：10枚。赤字に番号のついたものと白地に番号のついたものの2種類

## 〔競技規則〕

- (1) 人数は個人戦1対1、団体戦は5人対5人で行う。
- (2) 先攻と後攻を決める。
- (3) 両チームとも投球順を示す腕章を腕につける。先攻チームは赤の腕章をつけるように決めておく。
- (4) マット上のポイントにピンを10本並べ、ゲートを下図の①に置く。
- (5) 先攻チームよりプレイを開始する。

ア 投球者は、両足を地面に固定し（助走しないで）ボールを片手で投球する。

イ 投球されたボールは「ころがしライン」より手前で転がるようにして、ゲートをくぐらせてピンを倒す。

ウ 「ゲートを通過しないで」あるいは「ゲートに接触して」ピンを倒した場合は無効とする。ピンは投球前の状態に戻す。

エ 倒れたピンは直ちにに取り除き、10本のピン全部が倒れるまで順番に1球ずつ投球する。

オ ピン10本を倒すまでの投球回数とそのラウンドの得点となる。

カ 1ラウンドにおいて1人が4回、5人の合計投球数が20回を終了してもピンが残っている場合は、そこでそのラウンドを終了とし「20+残ったピンの数」とする。

キ 次に続いて同じように後攻のチームが行う。

ク このようにして1ラウンドが終了したらゲートを下図の②に移し、続きの投球順で第2ラウンドを行う。

- (6) このようにして先攻と後攻がそれぞれ第4ラウンドまでプレイして競技を終了する。
- (7) そこで各ラウンドの得点を合計し、勝敗を決める。得点の少ない方を勝ちとする。
- (8) 同点の場合は5人対5人（団体戦）のジャンケンで決める。
- (9) 投球順序の変更は認められない。また、次のラウンドに移るときは、前のラウンドの最後に投球した人の次から始める。
- (10) 投球しない方のチームは、ピンの近くに位置してボールを止め、あるいは倒れたピンの処理等を行う。
- (11) ピンがマットの外に出てなお立っていても、このピンは倒れたものとみなす。

